

あいさつ運動の好事例

高梁市立高梁小学校

(児童数359名 教職員数40名)

「オアシス（見つけ）いいかおさ！」運動 ～ 児童会を中心とした取組 ～

おはようございます
ありがとうございます
しつれいします
すみません（見つけ）
いってきます
いただきます
かえりました
おやすみなさい
さようなら

アピールポイント

あいさつと笑顔で始まり、あいさつと笑顔で終わる高小の子どもたち！

「家庭で何があっても、一日の始まりは気持ちよく、また、学校での終わりも気持ちよく」を目指して、児童会を中心に、家庭・地域を巻き込んだ「オアシス（見つけ）いいかおさ！」運動を行っています。

実際の様子



ポスター



あいさつ運動



登校時の様子



ももパト隊（毎月曜日の朝）

取組の概要

■児童生徒の実態

毎朝、元気な声であいさつができていたが、中には、声をかけないとできにくい児童もいる。特に、月曜日の朝は、元気のない様子が見られる。

■活動内容

児童会の環境委員会を中心に、毎週の火曜日の「朝のあいさつ運動」やポスターづくりなどを行って、「オアシス（見つけ）いいかおさ！」運動を展開している。また、代表委員会の議題として提案し学校全体で取り組んでいる。さらに、家庭への啓発や、PTAや長寿会の見守り、ももパト隊（吉備国際大学ボランティア）など、地域の方から声かけもいただいている。

■取組の参加メンバー

児童会が中心となって実施。

教職員、児童生徒、保護者、地域見守り隊、学生ボランティア等参加。

■成果・効果

児童会を中心に取り組むことで、児童の意識が高まり、学校から地域へと発信している。